



1月24日 日曜日
 茨城新聞社
 〒310-8686 水戸市笠原町978-25
 電話 (029) 239-3001(代)
<http://ibarakinews.jp>
 編集局
 電話 (029) 239-3020
 FAX (029) 301-0362
 販売申し込みは
 ☎0120-029-218
(平日午前9時～午後5時)

女性会員拡大に力

県シルバー人材センター



女性向けのイベント企画や巾着などの小物製作に取り組んでいるつくばシルバー人材センター。同市筑穂

県シルバー人材センター連合会が、県内各センターでの女性会員獲得に力を入れている。高齢者の生きがいづくりを促進しようと働け場所を提供してきたが、近年、定年の延長や会員の高齢化などによって会員数が減少しており、女性の労働力を取り込む必要があるためだ。本県の女性会員比率が全国平均を下回る中、同連合会は、新規女性会員向けセミナーや地区を横断した検討会の開催など新たな取り組みに着手し、会員拡大を図っている。

■アロマ講座
 「(女性会員は)外の仕事はやりたがらない。施設管理の希望が多くなっている」
 新規女性会員向けセミナーは昨年度、水戸など3地域で始め、本年度は龍ヶ崎、

セミナーで魅力伝える



筑西など5地域に拡大。同11月中旬の龍ヶ崎市でのセミナーでは業務紹介に加え、女性向けに「アロマ&ハーブ」講座を実施。そのかいあってか、参加20人中7人が入会した。セミナーは今後も順次、他地域で開催する。

2019年3月末現在の会員全体に占める女性の割合は全国平均の33・8%に対し、本県は31・5%。同連合会は女性が関心を持つようなPRや勧誘活動の充実を継続して図っていく。

■退会を抑制
 入会を促すだけでなく、退会をいかに少なく抑えることも重要になる。

同連合会によると、19年度の全国の会員数は71万5558人で、前年比19・1

8人増と10年ぶりに増加に転じた。一方、県内会員数は1万6583人で同18・1人減。本年度も昨年11月末現在、入会者1230人を退会者15883人が上回る状況だ。

19年度の主な退会理由は「病气」が25%、「会費未納」が13%、「加齢」が12・6%など。

同連合会担当者は、「会費未納」の要因は希望する仕事がないからと推測。「就業の機会がない」の8%と

合わせて21%の会員が希望する就業の機会を得られていないと分析。就業機会の拡大が退会の減少につながる。企業と連携して就業開拓を図るほか、女性会員の趣味や特技を生かした習い事の講習開催や、手作り作品の制作販売の事業化も視野に入れる。

■「ハッピー」に
 会員増に向けた取り組みが実を結んだ例もある。つくばシルバー人材センターは、11人の女性会員が中心となり化粧講座など女性向けのイベント開催や、巾着、エプロンといった小物の製作販売を行う。趣向を凝らした継続的な積み重ねが同センターの知名度を高めるとともに退会を抑えることにもつながった。女性会員は昨年11月末現在、212人で、16年度の1・36倍となった。

昨年12月8日には同センターの男性会員を講師として「密」を避けるなどの感染対策をした上で、サプライズでクリスマスの菓子をプレゼントすると、参加者から歓声が上がった。新規参加者からは入会に前向きな声も寄せられたという。

成島和子副理事長(69)は「喜んでもらえたら達成感や張り合いになり、次は何をやろうかとなる。ハッピーになれたらいい。組織でそれができれば何より」と意欲的だ。